

(特非) アーキペラゴ

瀬戸内海を美しくするためには始める身近な川ごみ調査

活動地域  香川県



川ごみ調査の様子と川ごみマップ

課題

世界的課題の海ごみ問題。瀬戸内海は、海ごみの66%が陸域から発生し川を通じて海へ流入している。この流入過程の状況を知り、ごみの回収及び発生抑制を行う必要がある。

目標

川ごみの調査及びマップ作成による、海域へ流出するごみの発生源把握とごみの多量漂着場所で効率的なごみ回収の実施。川ごみマップを用いて、ごみ発生抑制の啓発活動。



今後の
展望

調査で分かったごみの多量漂着場所で効率的なごみ拾いや川ごみマップを教材としてごみ発生抑制の活動を定期的に実施する。また、地域コミュニティや行政と連携してごみ回収と発生抑制の双方から対策を進める。

LOVE BLUE助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 川ごみ調査(5水系)によりごみの分布状況を把握し、その状況を可視化した川ごみマップ(Web版・紙版)を作成した
- 調査で分かったごみ多量漂着場所でごみ回収を行った(参加者数25人、回収量107kg)
- 川ごみマップを用いて、海ごみ削減の環境学習説明を行った(紙版マップを600枚配布)
- 調査の報告会を地域コミュニティ・行政と実施し、ごみ漂着やポイ捨てが多い場所等の情報共有や海ごみ削減方法について意見交換を行った。調査方法や海ごみ削減の講座実施について相談があり、今後の展開が考えられる



ごみ多量漂着場所でクリーンアップ

川ごみ分布状況の
可視化河川数

5水系

川ごみ調査結果の
報告会参加者数

34人

今年度計画の達成度

90%

目標達成度

90%

苦労した点と工夫した点

● 苦労した点

新型コロナウイルス禍・緊急事態宣言により活動のスタートが遅れたことや人が集まっていたの催しや会の開催及び調整が難しかった。

■ 工夫した点

川ごみマップを利用して海ごみ問題の説明することにより、人の生活と海がつながっていると感じてもらえるきっかけとなっている。

〒760-0062

香川県高松市塩上町一丁目2番8

電話：087-813-1001

E-mail：scf@archipelago.or.jp

HP：http://www.archipelago.or.jp/scf/

